



透析患者さんへのTAVIが可能になりました！

～ハートチームでより幅広い大動脈弁狭窄症に対応します～

平素より当院心臓血管外科へ多くの患者さんをご紹介いただき、誠にありがとうございます。
近年、大動脈弁狭窄症（AS）に対する治療は大きく変化しており、従来の外科的大動脈弁置換術（SAVR）に加えて、経カテーテル的大動脈弁植込み術（TAVI）が重要な治療選択肢となっています。当院でも循環器内科、心臓血管外科を中心としたハートチームで、それぞれの患者さんの年齢、全身状態、併存疾患、解剖学的条件などを検討し、最適な治療法を選択しています。

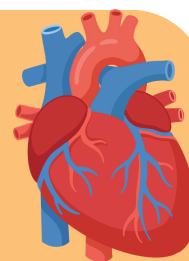
このたび、当院において透析患者さんに対するTAVIの実施が可能となりました！

透析患者さんでは、心血管疾患を合併する頻度が高く、大動脈弁狭窄症も重要な疾患のひとつです。一方で、長期透析に伴う血管石灰化や全身の併存疾患などから、治療方法の選択には慎重な判断が求められます。

当院では、「TAVIか、外科手術（SAVR）か」ではなく、「その患者さんにとってどの治療が最も適しているか」という視点を大切にしています。心臓血管外科と循環器内科がそれぞれの立場から検討し、必要に応じて関連各科とも連携しながら治療方針を決定します。

このような患者さんがおられましたら、ぜひご相談ください

- 透析中で、心エコーにて大動脈弁狭窄症を指摘された患者さん
- 最近、労作時息切れや胸部症状が目立つようになった患者さん
- 大動脈弁狭窄症が進行しているものの、手術リスクが心配な患者さん
- 高齢あるいは併存疾患のため、治療適応について判断に迷われる患者さん



TAVI、低侵襲心臓手術（MICS）、通常の開心術を含めた複数の選択肢を持つことが、当院ハートチームの強みであると考えています。患者さんの状態に応じて、最適な治療をご提案いたします。

裏面に続きます

執筆



友愛医療センター
心臓血管外科 部長
山内 昭彦
山内昭彦ブログ

「日本最南端の心臓外科医日記」
右上のQRコードからご覧ください ↑



▲心臓血管外科
ホームページ



▲心臓血管外科
Facebook



▲心臓血管外科
ダヴィンチを導入



ロボット心臓外科外来を開設しました！



～沖縄県内の患者さんが、より身近な場所で専門相談を受けられるように～

当科では2026年6月より、沖縄北あんしん内科クリニックにおいて「ロボット心臓外科外来」を開始しました。

この外来は一般的な循環器診療を目的としたものではなく、ロボット心臓手術の対象となる可能性のある患者さんの適応相談に限定した専門外来です。当科ではこれまで、胸骨を切開せず、肋骨も切断しない低侵襲心臓手術（MICS）に積極的に取り組んできました。さらにロボット支援手術を導入し、より小さな創から精緻な心臓手術を行う治療体制を整備しています。現在、沖縄県内でロボット心臓手術を実施しているのは当科のみであり、県内各地域の患者さんがこの治療の適応について相談できる体制を整えることが重要と考えています。

今回、中部地区に専門外来を設けた目的も、地域で行われている循環器診療を担うことではなく、ロボット心臓手術という高度専門治療へのアクセスを県内全域で確保することにあります。

【ロボット心臓手術の主な対象】

- 心臓弁膜症：ロボット支援下での1弁または2弁の弁形成術
- 冠動脈疾患：ロボット支援下冠動脈1枝バイパス術

特に僧帽弁閉鎖不全症に対する僧帽弁形成術は、ロボットの拡大された立体視野と精緻な操作性を生かすことのできる術式です。当科では弁を可能な限り温存し、質の高い僧帽弁形成を目指しています。また、低侵襲性を生かすことで術後の回復も早く、当科では術後在院日数は概ね6日前後となっています。

なお、本外来はあくまでロボット心臓手術の適応判断・治療相談に特化した外来です。地域の先生方に日常診療を担っていただいている患者さんについて、当科で専門的な手術適応を検討し、手術が必要な場合には友愛医療センターで治療を行います。治療後は原則として紹介元の先生方へお戻しし、その後の診療をお願いすることを基本としています。

～適応がはっきりしない段階でもご相談ください～

- 「手術が必要かどうか、まだ分からない」
- 「僧帽弁形成が可能か相談したい」
- 「ロボット手術の適応になるかだけを確認したい」

地域の循環器内科・心臓血管外科の先生方と役割を分担しながら、患者さんが居住地域にかかわらず、必要なときにロボット心臓手術という選択肢について相談できる体制をつくるのが、この外来の目的です。当科では、カテーテル治療、ロボット手術、MICS、そして従来の開心術まで、幅広い治療手段を提供しています。治療方法ありきではなく、患者さん一人ひとりの病態や生活背景を踏まえ、ハートチームとして最適な治療を選択することを大切にしています。

「この患者さんは治療の対象になるだろうか」と迷われる段階でも、どうぞお気軽にご相談ください。今後とも沖縄県内の先生方との連携を大切にしながら、地域の患者さんへより良い心臓血管治療を提供できるよう努めてまいります。

友愛医療センター 心臓血管外科部長 山内 昭彦

執筆



友愛医療センター
心臓血管外科 部長
山内 昭彦
山内昭彦ブログ

「日本最南端の心臓外科医日記」
右上のQRコードからご覧ください ↑



▲心臓血管外科
ホームページ



▲心臓血管外科
Facebook



▲心臓血管外科
ダヴィンチを導入